山陰経済

経済情報は本社政経部へ
TEL0852（32）3330

活躍する県出身者たち

島根マインド

素材熟知 ニーズ迅速対応

清建会長　岸　節雄さん（江津出身）

外気を遮断し、気密を保つため、マンションや冷凍倉庫、自動販売機など幅広い用途で使われる「ポリウレタン」。施工現場で壁などに吹き付ける機械や関連資材の販売を手掛け、全国約200社の施工業者と取引する清建の岸節雄会長（71）は「現場の施工業者は、休みも関係なく働いている。我々はそのニーズに迅速に対応するのが信条」と語る。

江津工業高校を卒業した1962年、入社した大阪府内の大手紡績会社で、ポリウレタンを使った新規事業部門に配属された。繊維メーカーやゴムメーカーが将来性を見込んで相次ぎ参入しており、同社も例外ではなかった。

工場をはじめ、東京、名古屋、大阪で営業を担当。製造した原料を納入するだけでなく、施工をセットにした販売手法を同社で初めて導入するなどし、大手食品会社の倉庫など実績を上げた。

退社後、東京都内の建設会社勤務を経て、1995年に独立。零細企業が多い施工業者と、大手の化学、機械メーカーなど仕入れ先約30社を橋渡しするビジネスモデルを構築。事業を軌道に乗せた。

もともと「技術屋」で、素材の特性を熟知している上、豊富な経験から得た知恵で、ニーズを迅速に把握するなど、地域住民が自分のこととして捉える必要がある。やる気をもって、古里の将来を考えることが重要ではないか。

業務　硬質ポリウレタンフォームの施工機器の部品や関連機械、副資材の販売など
住所　東京都荒川区荒川8―24―2―305
電話　03（5811）7291

ふるさとへの提言

少子高齢化などで人口減が進んだが、かつての江津市内は今に比べて人口が多く、繁華街の映画館などがにぎわっていた。一朝一夕で活力を取り戻すのは難しい。異業種で活発に情報交換する団体を組織し、県や市に提言するなど、地域住民が自分のこととして捉える必要がある。やる気をもって、古里の将来を考えることが重要ではないか。

豊富な現場経験から相手のニーズを的確に把握するのが強みだ。

氷点下30度にもなる冷凍倉庫は、建設時に吹き付けを丁寧に重ねなければ、ポリウレタンが割れ、機能しなくなる。豊富な経験から得た知恵で、施工法を指導することも少なくない。

吹き付けの現場は周囲が汚れるため、シートやテープ、ゴミ袋などのニーズも高い。そこで目を付けたのが関連資材の販売。予測した通り、北海道の大手施工会社などから、大量の注文が舞い込むことになった。

2012年に社長の座を長男に譲ったが、情熱は衰えない。取引先の求めに応じ、古希を過ぎてもフットワークよく全国を飛び回る。

仕事の傍ら、江津工業高校の卒業生でつくる「江工会関東支部」の副支部長を務める。「旧知の友人と一杯飲むのが何よりの楽しみ」と語る。

ただ、少子化で生徒数の減少が顕著な母校の行方が気掛かり。各界で活躍する仲間と収集した卒業アルバムを見つめながら、「何が何でも残してほしい」と言葉に力を込めた。

きし・せつお　江津市江津町出身。江津工業高校工業化学科卒業後、大阪市に本社を置く紡績会社に入社し、大阪府や東京都、愛知県内で勤務。東京都内の建設会社を経て、1995年に清建を設立した。社長を務めた後、2012年に会長となった。